

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業 点検・評価調書

4-IV-9

4-IV-9

章 節	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	ピーク時の宿泊施設確保に向けた本土側との連携
	IVホスピタリティの醸成	事業主体	佐渡観光交流機構
事業(施策)名	9 宿泊施設連携体制の構築	関連団体	新潟市国際・広域観光課、長岡市観光企画課、上越市観光交流推進課、佐渡市観光振興課、県観光協会
事業実施期間	H28～R4		
事業概要	<p>【事業目的】 ○ピーク時の宿泊施設不足への対応として、佐渡と新潟本土を繋ぐ地域を中心に県内全域での連携を図る。</p> <p>【事業内容】 ○本土側の関係機関と連携を図り、島内の宿泊予約状況を随時確認できる情報共有体制を構築する。</p>		
30 事業計画と実績	<p>【30年度計画】 ●H29年度に佐渡観光ナビで宿泊を予約できる仕組みを構築した。宿泊施設が大手宿泊予約システムに登録・参画を促す。(宿泊予約システムにより部屋の空き状況が把握できる。)</p> <p>●島内の観光案内所職員及び新潟駅前案内所、寺泊観光案内所、直江津駅前観光案内所の職員を対象に佐渡金銀山の現地視察を実施する。</p> <p>●H29年度に導入した観光案内所間の情報共有ツール(Chatwork)の活用を図る。</p> <p>【30年度実績】 ●佐渡観光ナビに大手宿泊予約システムを導入し、空室状況と即時予約ができるようになった。また、ピーク時の宿状況は当機構の各支部を通じて空き情報を出してもらうなど、観光案内所にて把握できる体制を構築した。</p> <p>●島外の案内所を対象とした研修は予算不足により実施を見送った。</p> <p>●観光案内所や観光施設の職員を対象とした現地研修会(真野地区～羽茂地区)を実施した。</p> <p>●情報共有ツールにて、島内各地の情報をアップし、共有を図った。</p>		
課題・今後の取組	<p>【課題】 ●本土側の案内所や施設との連携について検討する必要がある。</p> <p>【今後の取組】 ●取組内容の具体化にまでは至っていないが、引き続き宿泊施設等との連携を図る。</p>		
事業評価	<p>【事業の達成度】 ○ a · b · c]</p> <p>【事業実施の効果】 ○ a · b · c]</p> <p>【総合評価】 ○ A · B · C]</p> <p>大手予約システムの導入による利便性の向上を行ったこと、また島内施設の従業員や職員の研修会を実施したことで、民間レベルの情報交換を行ったことから、Aとする。</p>		

a:進んでいる。高い。
b:概ね順調。概ね適切。
c:遅れている。低い。

A:計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B:概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C:計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。